



「新温泉町差別をなくし人権文化をすすめる町民運動」

8月推進強調月間関連事業



# 新温泉町人権を考えるつどい

新温泉町では「誰一人取り残さないウェルビーングな社会づくり」をめざし、さまざまな人権課題と向き合い、人権教育や啓発に取り組んでいます。住民と町が共に力を合わせ、お互いの人権が尊重され誇りが持てる新温泉町をめざして、一緒に考えてみませんか。



あしはら **モデル 葦原** みゆう **海**

健全者と障がい者の間にある壁を壊すために必要なこと

～profile(講師プロフィール)～

各種ショーに出演の他、TV/CM/ラジオ/グラビア/講演会/MC/観光地のバリアフリーアドバイザーなど幅広く活躍。SNS総フォロワー数70万人を超えるインフルエンサー。

東京2020公式プログラムオリンピック前夜祭『わっさい』や東京パラリンピック閉会式にパフォーマーとして出演、2022年秋にミラノコレクション、23年春にパリコレクションのランウェイを歩き、歌手・MISIAのアリーナツアーでバックダンサーも務めた。

16歳のときに両足を切断。車椅子ユーザーとして今ある障害者と健全者の架け橋になるべくモデル活動を始め、メディアやSNSでも多くの人に元気を与えている。

とき 8月2日(土)  
13:30～16:00(13:00開場)

ところ 新温泉町文化体育館  
夢ホール(入場無料)



手話通訳  
要約筆記  
あり

～今年度の人権講演会について～

令和7年度も令和6年度に引き続き、障がいのある人の人権をテーマに人権講演会を実施します。昨年度はグループホーム設立の意義について講演をいただきましたが、令和5年度に実施した「人権に関する新温泉町民の意識調査」によると、それ以外にも障がいのある人に対する理解、企業雇用など多くの課題があることが分かっています。

令和7年4月1日施行の第4次新温泉町人権啓発推進計画にもあるように、障がいのある人に対する差別や偏見を取り除き、ノーマライゼーション社会の実現に向けて、町全体として取り組んでいく必要があります。今年度は障がい者と健全者の架け橋になるべく活動されている葦原 海さんのお話を聞き、障がいの有無にかかわらず、多くの人が地域の中で活躍できる社会を築くために私たちは何をしたらいいのかを考える機会とします。

プログラム

- ①開会式
- ②「差別をなくし人権文化を進める町民運動」  
人権標語・ポスター表彰式
- ③人権作文の発表
- ④人権講演会  
※その他会場ロビーにて  
人権標語・ポスターの展示



主催：新温泉町・新温泉町教育委員会・新温泉町人権教育協議会

問合先：新温泉町教育委員会生涯教育課人権推進室(文化会館内)

TEL：0796-82-3328 FAX：0796-82-4644